

駅でのゆるやかな 集いが生む 地域のウェルビーイング



泉ヶ丘駅 commons で毎月開催する本講座は、身近なテーマをきっかけに、一人ひとりがウェルビーイングを自分に関わることで考えてみるための講座です。この場で生まれた気づきやつながりを、これからの交流や活動へと広げていくことを目指しています。地域と大学が共に創る学びと対話の場に、ぜひご参加ください。

会場

帝塚山学院大学 ウェルビーイング共創ハブ 泉ヶ丘駅 commons
泉ヶ丘ひろば専門店街 2階 (南海泉北線泉ヶ丘駅 改札を出て右へ徒歩3分)

事前申込制
参加無料

- ・先着順
- ・定員24名

vol.4

「地域から考えるウェルビーイング共創」

ー小さな関わりから広がる、地域とのつながりー

泉北エリアで地域活動に取り組んでいる宝楽陸寛さんをゲストに迎え、そのご経験や想いをうかがいながら地域との関わりを身近に感じる時間を持ちます。ゲストや参加者との対話の機会も設け、小さな関わりから広がるつながりや、そこから生まれるウェルビーイングに目を向け、自分にとって心地よい地域との関わり方を見つけてこれからの一歩につなげる機会とします。

日時

2026年4月24日 (金) 18:00~19:30

ゲスト

公益財団法人 泉北のまちと暮らしを考える財団 代表理事
NPO法人 SEINコミュニティLAB 所長

ほうらく みちひろ
宝楽 陸寛 氏

1982年大阪府河内長野市出身。ビジネスからボランティアまでNPOや市民の活動のコーディネーターとして活動。対話型で居場所づくりを行う茶山台としょかん他、ニュータウンの協働で数多くのプロジェクトを手がけ事業化や、その仕組みの地域展開に取り組む。主に30-40代が中心となりコミュニティ財団「公益財団法人泉北のまちと暮らしを考える財団」を立ち上げ、現在、「温かいお金」が地域でまわる仕組みづくりを行う。



ナビゲーター

帝塚山学院大学 副学長・食環境学部長・
社会連携機構長・ウェルビーイング共創ハブ代表

にしかわ よしかず
教授 西川 禎一 (農学博士・獣医師)



申込方法

<https://forms.cloud.microsoft/r/f4Pg8AJx9S>

上記URLまたは右記二次元コードよりお申し込みください。
申込期間終了後、受講のご案内をメールにてお送りいたします。
※お申し込みは先着順で受け付けております。
定員に達した場合は、ご参加いただけない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

4月20日(月)23:59
申込み締切

◆参加無料・先着順



[申込フォーム]



帝塚山学院大学 ウェルビーイング共創ハブ
〒590-0113 大阪府堺市南区晴美台4-2-2
TEL.072-247-4567 Mail : osoc@tezuka-gu.ac.jp



[大学HP]

本学は、文部科学省及び日本私立学校振興・共済事業団が実施する「令和6年度 少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援」事業において、メニュー1「少子化時代をキラリと光る教育力で乗り越える、私立大学等戦略的経営改革支援」の対象大学として選定されました。